

平成27(2015)年3月20日

保護者の皆様

高槻市立第四中学校

校長 沖田 厚志

平成26年度 第四中学校の取組(自己評価)

春色なごやかな季節、保護者の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。平素は本校の教育にご理解ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

さて、本校が取り組んでまいりました今年度の教育活動を振り返り、自己評価と今後に向けての改善点をまとめました。学校教育自己診断アンケートの結果や学校評議員会でのご意見、校内の取組の総括等をもとにしています。

1. 学校教育目標およびめざす子ども像

【学校教育目標】

人権を大切にし、たくましく生きる、心豊かな生徒の育成

《めざす子ども像》

*学び合う生徒 *仲間とつながる生徒 *自ら判断し行動する生徒

2. 本年度の重点目標、主な取組内容および自己評価

(1) 「豊かな心」を育む教育の推進

*人権を大切にし、個が高まるような集団づくりの充実

*生徒が感動し、達成感を持つ場の充実

*班活動やクラスミーティングなどを活用した学級集団づくり、学年集会の実施等を通じた学年集団づくりに努めました。

*生徒の主体的な参加を促し達成感が獲得できるような行事の実施、行事を通じての集団づくりに努めました。体育祭や2年生校外学習などでは、生徒が企画し実行する部分を増やしています。

*「いじめ防止基本方針」を制定しました。※ホームページをご覧ください。

*1・2年生は年2回、3年生は年1回、教育相談を実施しました。

*毎月4のつく日は「四中あいさつデー」、28日は「はにたんあいさつデー」として、あいさつ運動を実施しました。

◇各行事に、主体的、前向きに取り組む生徒の姿が多く見られるようになっていきます。あいさつをする生徒も増えています。また、小・中学校共同で地域の清掃活動をするなど、子どもの発案(校区児童生徒議会)で実施した行事もあります。

◇残念ながら、生徒間のさまざまなトラブルが発生しています。LINE に係るトラブルも複数回起きています。集団づくりに一層努めるとともに、情報モラル教育にも力を入れていきたいと考えています。

◇日常的な生徒との密なコミュニケーションや、生徒の自己肯定感の向上や次への意欲につながるような言葉掛けなど、生徒の気持ちを大切にしている指導に努めてまいります。

(2) 「確かな学力」を育む教育の推進

* 授業改善の継続および充実

* 高槻市教育センターより、「授業改善推進モデル校区」の委嘱を受けました。「解きたくなる問い」「ソロⅠ(個での学び)ーコミ(集団での学び)ーソロⅡ(個での学び)で取り組む学習活動」「既習事項の活用」を3つの柱として、「主体的な学び」を引き出すため、研究授業などを実施して授業改善に努めてきました。

* 生徒向けの校内授業アンケートを実施し、結果を分析し、授業改善につなげました。

* デジタルタイマー、学習内容や学習目標のプレートなどを各教室に設置し、学習環境の整備を行いました。

* 各学年、放課後学習や長期休暇中の学習会を実施し、基礎学力の定着を図りました。

* 校区の小・中学校が同時期に「学びんぐ Week」(家庭学習強化週間)を設定しました。(年間4回)

* (校区)家庭学習リーフレット発行、配布は、新年度の家庭訪問で行います。

◇学校評議員さんからは、学力の厳しい生徒への取組の充実とレベルアップを図ってほしいとの意見が出ました。また、保護者の授業評価の低さ(「学校教育自己診断」の結果)は、何に起因するのか、学校は分析すべきであること、授業参観で何を見てほしいのか視点を明確にすべきである等とのご指摘をいただきました。

◇生徒の学力向上をめざし、授業改善の研究を進めておりますが、まだまだ日々の授業の取組にその成果が反映しきれていない面もあります。今後も、生徒の学習意欲を引き出す授業展開に努めてまいります。

(3) 「信頼される学校づくり」の推進

＊信頼関係を軸にした保護者・地域との連携、協働

＊日々の学級担任や学年担当による保護者への情報提供以外に、学校だよりの発行、HPの更新、ブログの発信等によって、学校の取組や生徒の様子をお伝えするように努めました。

＊さまざまな地域行事に、教職員や生徒が参加しました。

＊総合的な学習の時間「いまとみらい」を中心として、保護者や地域の方々をゲストティーチャーとしての招聘、地域での聞き取り学習や交流、地域の方々との協働作業等を行いました。

◇学校評議員さんからは、生徒が地域に出て、いろいろな大人と出会えたことを評価していただきました。中学生との協働が、大人の側にも良い影響があること、学校からも保護者や地域に望むことを明確にすべきであるとのことご意見もいただきました。

◇今年度も、「いまとみらい」の取組を中心に、保護者・地域との協働が進みました。保護者や地域の方々の生徒への応援が、生徒の達成感、自己肯定感につながっていると感じています。2年生は昨年度に引き続き、高槻市住宅課よりの依頼で倉庫の壁に絵を描きました。地域の方々の大きな協力を得ることができ、除幕式には濱田市長にも列席していただきました。

◇毎日更新される「四中ブログ」へのアクセスは相当数に上り、学校の取組や生徒の様子がよく分かると評価していただいています。

◇保護者との信頼関係を築くことに努め、校内で情報の共有や一貫した指導など、組織的な対応をしております。

(4) 連携型小中一貫教育の充実

＊校区の教育目標を「今の課題に向き合い未来をよりよく生きる子どもを育む」とし、これまでの小学校との連携した取組を土台に、研究と実践を推進しました。

- ・校区の教員研修会、研究授業、小中教科会議等の開催
- ・校区での児童生徒対象の効果測定の実施
- ・小中合同の「学びんぐ Week」(家庭学習強化週間)の設定(年間4回)
- ・校区児童生徒議会の開催(年間4回)
- ・小6の体験入学(3日間)
- ・小6～中3参加の「いまみフェスタ」の開催
- ・小中合同の地域公開研究発表会の開催

◇教職員同士にとどまらず、児童生徒の協働の内容の充実も図ることができました。